

来年度の授業について

新型コロナ感染拡大の第三波が心配される中ですが、来年度の授業について、現時点での本学の方針をお知らせいたします。

新型コロナ感染が拡大する中、本学は、大学全体で「学び」に真摯に向き合い、オンライン授業を前期の授業を実施しました。アンケートに回答した95%を超える学生が、同時双方向授業を体験し、ICTを活用した学びを身につけたと評価しました。そうした学びの方法で学生が力を伸ばしたことは、教員のアンケートからも明らかでした。例年よりも、出席、課題の内容がよくできているという報告が届いています。本学のオンライン授業は、教員と学生の交流を重視した「同時双方向授業」や、オンデマンドの資料にもとづく「反転授業」などの割合が高く、教員と学生の挑戦によって、学びの質を維持してきました。

後期では、東京女子大学活動制限指針(以下指針)に従い、一部対面授業を実施し、質の高いオンライン授業を継続しています。同時に、学生のみさんから仲間と出会う時間が激減している声も届いており、指針に従い、可能な範囲で対応しています。

来年度は、「with コロナ」の時代の授業として、指針のレベル1またはレベル2においては、オンライン授業の効果を踏まえつつ、感染拡大対策を十分に

講じた対面授業を中心に展開していく予定です。詳細は1月にお伝えいたします。

オンライン授業の展開に備えて、通信設備を整えてきましたが、3密を回避し、安心と安全を十分に確保するためには、教室数など、なお制限も多くあります。その中で、可能な限り、学生のみなさんを大学にお迎えできるように、これからも力をつくしてまいります。

本学のカレッジヒムは、「Come, all who love the way of truth, Rejoice in our Foundation; Come, friends of all the dreams of youth, And share our jubilation.」と歌っています。このような学びの場の一日も早い実現を願っています。

東京女子大学学長 茂里一紘